

幼児期向け消費者教育教材 紙芝居「はるのたからもの」

～実践プログラムの様子～

多景保育園・滋賀大学教育学部附属幼稚園



教材を作成するにあたって、保育園と幼稚園のご協力を得て、教材の試作品を使った実践プログラムを行いましたので、その様子をご紹介します。

平成29年1月に、^{たけ}多景保育園（彦根市）と滋賀大学教育学部附属幼稚園（大津市）で、紙芝居「はるのたからもの」の読み聞かせを行っていただきました。

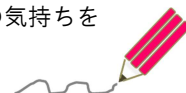
担任の先生からお話を読んでもらった後、「お話はどうだったかな？」「この時“はるちゃん”はどんな気持ちだったかな？」など、物語を振り返りながら、子どもたちに問いかけてもらいました。

最後は紙芝居のテーマソングを歌って、楽しいひとときを過ごしました。

～多景保育園での読み聞かせの様子～ 1月12日（木）



子どもたちは、最後までお話に集中して聞き入っていました。読み聞かせの後は、それぞれに感想を言いあったり、主人公の気持ちを想像して言葉にしていました。



～滋賀大学教育学部附属幼稚園での読み聞かせの様子～ 1月13日（金）



みんな紙芝居の世界に入って、お話に耳を傾けていました。途中、「かわいそう」「そこにはいないよ！」「よかった～」など、思わず声が出る場面も…。



最後に、テーマソングを歌いました。自然と手拍子をする子どももいて、楽しい時間となりました。

